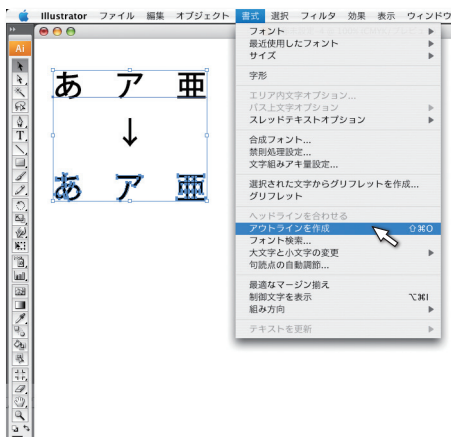


1. 書体（フォント）のアウトライン化



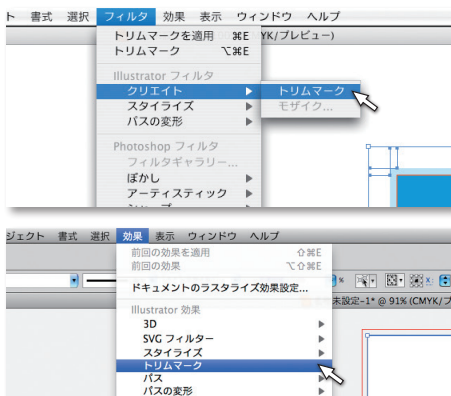
書体を全て選択し、「書式」メニューから「アウトライン作成」を選択してください。

アウトライン化後は、「書式」メニューの「フォント検索」で使用中のフォントが空欄になっているかご確認ください。

※フォントやレイヤーがロックされているとアウトライン化できませんので、必ず全てのロックを解除してからアウトライン化してください。

※アウトライン化をすると、文字の編集ができなくなりますのでバックアップを取ってから行ってください。

2. トンボと塗り足しの作成

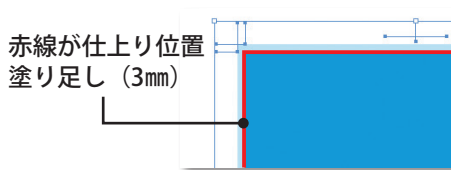


■ トンボ作成

長方形ツールで仕上がりサイズのボックスを作成します。次に作成したボックスの塗りと線を「なし」にしてから、ボックスを選択した状態で「フィルタ」メニューから「クリエイト」の「トリムマーク」を実行してください。

■ CS4、CS5 のトンボ作成

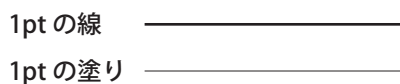
塗りと線を「なし」にしたボックスを作成後、「効果」メニューから「トリムマーク」を実行してください。



■ 塗り足しの作成

仕上がり位置で断裁されるオブジェクトは、仕上がり位置より 3mm 外側に作成してください。塗り足しがないと化粧断裁時に紙の色が見える事があります。

3. ラインとヘアライン



線を塗りの設定にしていると、きわめて細かい線（ヘアライン）で出力されてしまいますのでご注意ください。

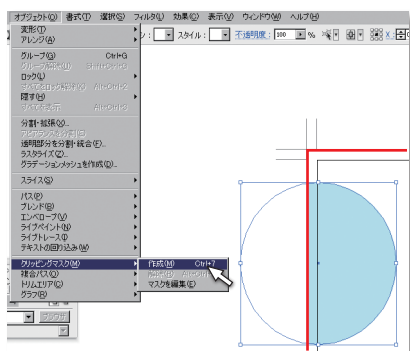
※実際には左図より細かい線になります。

4. オーバープリント



オーバープリントを設定した場合は、設定箇所を指示してください。（当社出力機の設定は **CMYK ノックアウト** になっています）

5. オブジェクトの配置



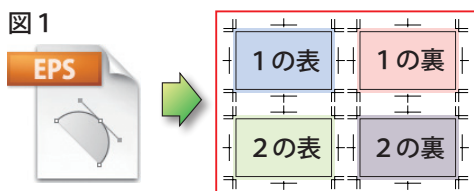
トンボの外よりオブジェクトがはみ出ないように、マスクを適用してください。

左図の赤線のように塗り足し込みのサイズでボックスを作りはみ出したオブジェクトと一緒に選択して「オブジェクト」メニューから「クリッピングマスク」の「作成」で作成します。

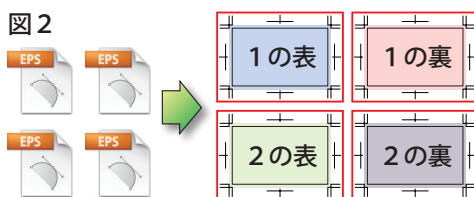
※複数のオブジェクトにマスクを適用する場合は、はみだしたオブジェクトをグループ化してから適用してください。

※必ずオブジェクトとレイヤーのロックを解除してから行ってください。

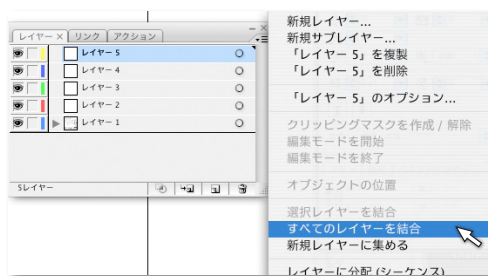
6. 複数ページ作成



頁物印刷物や多面付け印刷に対応できませんので、図1のように一つのファイルに複数のオブジェクトを並べて保存せず図2のようにオブジェクトは別々に保存してください。



7. レイヤー



レイヤーツールボックスのメニューから「すべてのレイヤーを結合」で一つのレイヤーにしてください。

※マークが表示されていない非表示レイヤーのオブジェクトは結合時に消えてしまいますので気をつけてください。

8. カラーモード



○出力時に CMYK に変換されるため、RGB の場合は色が変化するので、「CMYK カラー」を選択してください。

○裏写りの原因になりますので 4 色総ベタは使用しないで下さい。リッチブラック使用時は K100%CMY 各 30%程度にしてください。

○特色は使用しないでください。

9. レジストレーションカラー

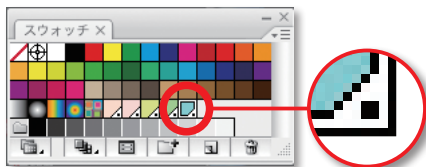


仕上りの範囲内で、スウォッチパレットにある「**レジストレーションカラー**」を使用すると **C100M100Y100K100** の総ベタになり、仕上りの問題が発生しますので、**使用しないでください**。

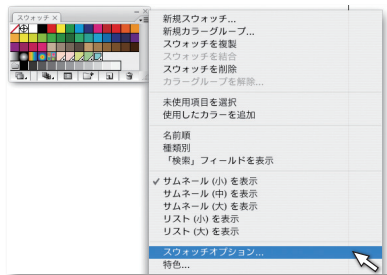
10. スポットカラー（特色）

スポットカラー（特色）は、特にご指定が無い場合は CMYK 4 色に変換します。特色を CMYK で表現できる範囲内で変換するので、色が大きく変わってきます。

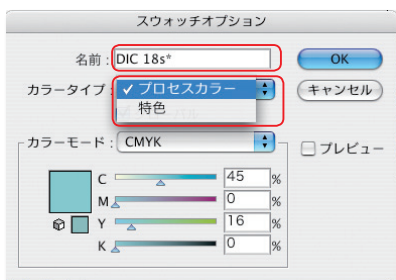
トラブルの原因になりますので、ご入稿の際はご確認の上、CMYK に変換するようお願いします。



左図の拡大部分のようにマークがついているものがスポットカラーです。



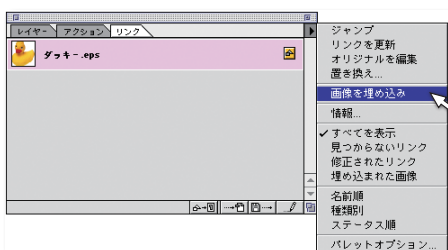
スウォッチパレットから「**スウォッチオプション**」を開きます。



カラータイプを「**プロセスカラー**」にしてください。

※名前を付ける場合は他の色と違う名前を付けるようにしてください。複数のページをリンク配置する場合に、同じ名前だと出力時に色が変わってしまいます。

11. 配置画像（Illustrator 9・10）



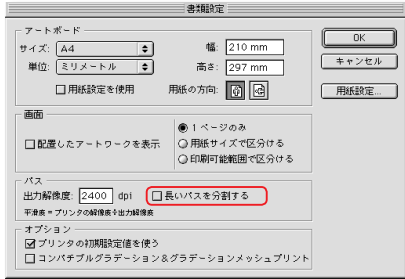
☑ マークがあれば、画像を**埋め込み**ます。

※配置画像に透明効果を使用したり、透明効果を使用したオブジェクトを画像に重ねたりすることで発生します。

12-1. 書類設定・ラスタライズ解像度

書類設定は「ファイル」メニューから「書類設定」で開きます。

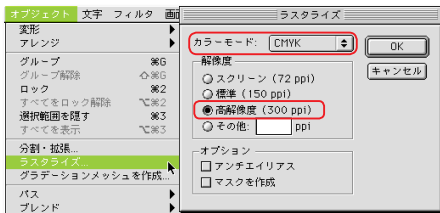
※ CS2、CS3は「ドキュメント設定」となっています。



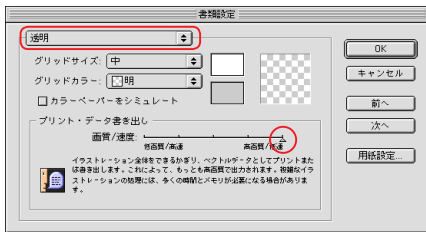
■ Illustrator 8

書類設定を開きます。

出力解像度を **2400dpi (ppi)** にします。



「オブジェクト」メニューから「ラスタライズ」を開いて、カラーモードを「CMYK」にし、解像度を「高解像度」にしてください。

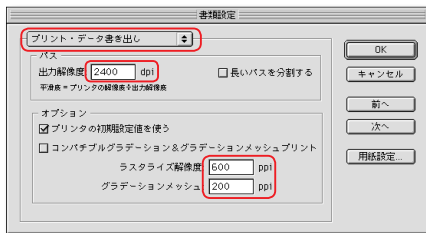


■ Illustrator 9

書類設定を開きます。

「透明」を選択します。

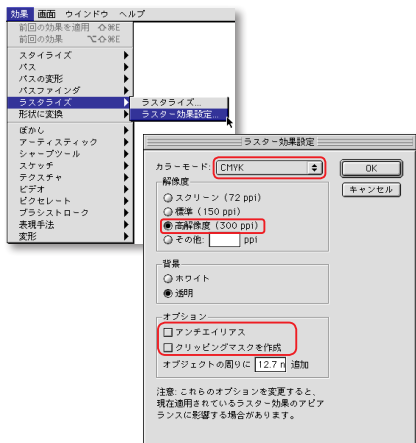
画質 / 速度スライダを「高画質 / 低速」(右端) にします。



「プリント・データ書き出し」を選択します。

出力解像度を **2400dpi (ppi)** にします。

ラスタライズ解像度を **600ppi (ppi)**、グラデーションメッシュを **200dpi (ppi)** にします。



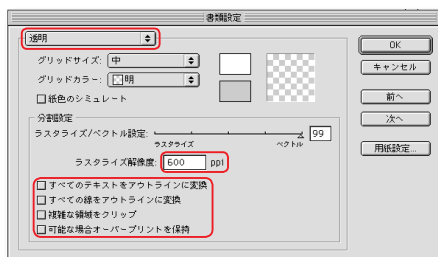
「効果」メニューから「ラスタライズ」の「ラスタ効果設定」を開きます。

カラーモードを「CMYK」にします。

解像度を「高解像度」にします。

※ オプションにチェックを入れないでください。

12-2. 書類設定・ラスターライズ解像度



■ Illustrator10

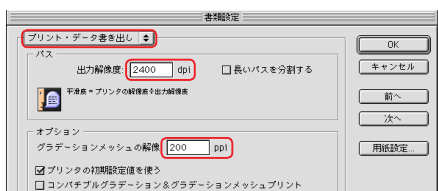
書類設定を開きます。

「透明」を選択します。

ラスターライズ/ベクトルスライダを 99（ベクトル側）にします。

ラスターライズ解像度を 600dpi (ppi) にします。

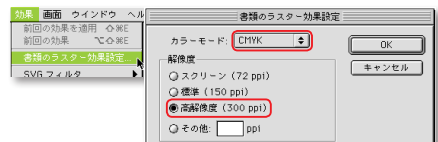
チェックボックスにチェックは入れないでください。



「プリント・データ書き出し」を選択します。

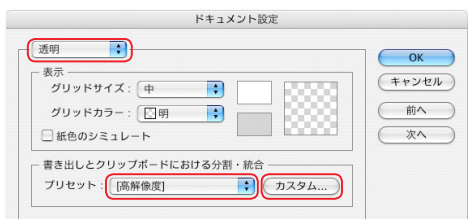
出力解像度を 2400dpi (ppi) にします。

グラデーションメッシュの解像度を 200dpi (ppi) にします。



「効果」メニューから「書類のラスター効果設定」を開きます。

解像度を「高解像度」にしてください。



■ IllustratorCS・CS2・CS3

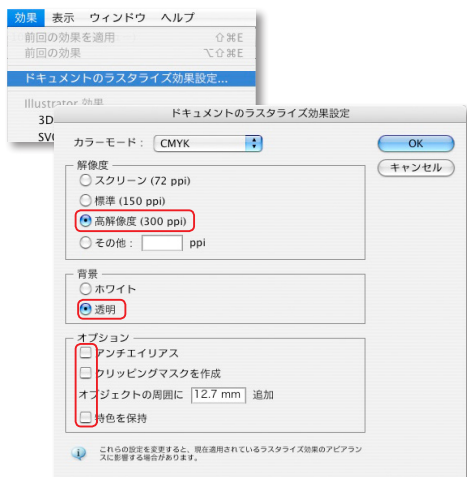
書類（ドキュメント）設定を開きます。

「透明」を選択します。

書き出したクリップボードにおける分割・統合を「高解像度」に設定します。



「カスタム」をクリックし、ラスターライズとベクトルのバランスを 100、ラインアートテキストの解像度を 600dpi (ppi)、グラデーションメッシュとメッシュの解像度を 200dpi (ppi) にします。



「効果」メニューから「書類（ドキュメント）のラスターライズ効果設定」を開きます。

解像度を「最高画質」にします。

背景を「透明」にします。

※オプションにチェックを入れないでください。

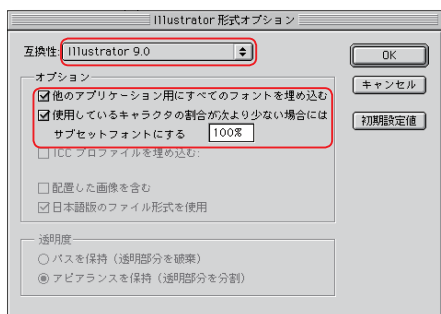
13-1. Illustrator 形式での保存 (ai ファイル)

- 「ファイル」メニューより「別名で保存」を選択し、ファイル形式を Illustrator に設定して、「保存」。
- ※ファイル名に拡張子「.ai」がつくようにしてください。
- ※必ず作成したバージョンで保存するようにしてください。
- ※不要なデータは取り除いてください。
- ※配置後にファイル名を変更したりフォルダを変更するとリンクが切れます。
- ※オプションの「配置した画像を含む」は、リンク画像を一緒に入稿された場合はチェックを入れなくて大丈夫です。リンクファイルが無い場合はグレー表示で選択できません。



■ Illustrator 8

互換性は「8.0」を選びます。
「OK」をクリックで完了です。



■ Illustrator 9

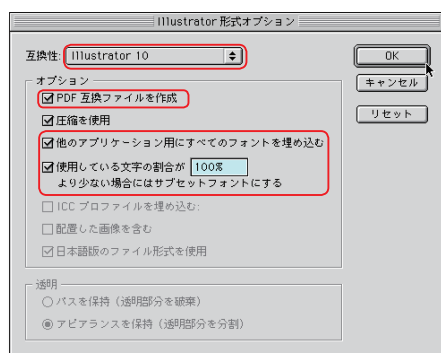
互換性は「Illustrator9.0」を選びます。

「他のアプリケーション用にすべてのフォントを埋め込む」に**チェック**を付けてください。

「使用している文字の割合が次より少ない場合にはサブセットフォントにする」に**チェック**を付けてください。

「ICC プロファイルを埋め込む」の**チェック**を解除してください。

「OK」をクリックで完了です。



■ Illustrator10

互換性は「Illustrator10」を選びます。

「PDF 互換ファイルを作成」に**チェック**を付けてください。

「圧縮を使用」は**チェック**をつけなくても OK。

※**チェック**を入れると保存速度が遅くなりますが、ファイルサイズが小さくなります。

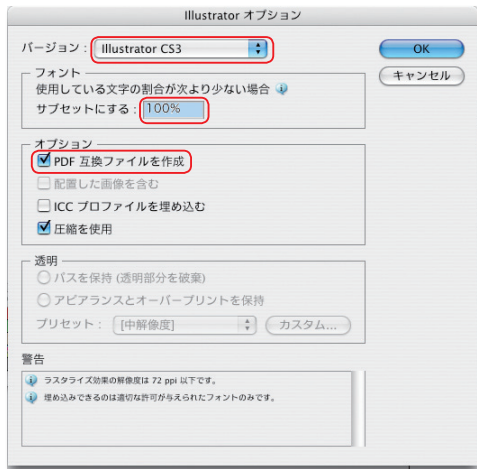
「他のアプリケーション用にすべてのフォントを埋め込む」に**チェック**を付けてください。

「使用している文字の割合が 100%より少ない場合にはサブセットフォントにする」に**チェック**を付けてください。

「ICC プロファイルを埋め込む」の**チェック**を解除してください。

「OK」をクリックで完了です。

13-2. Illustrator 形式での保存 (ai ファイル)



■ IllustratorCS ～ CS5

バージョンは、各作成バージョンを選択してください。

※左図は CS3 なので「IllustratorCS3」を選びます。

「使用している文字の割合が次より少ない場合サブセットにする」を「100%」にします。

「PDF 互換ファイルを作成」に**チェック**を付けてください。

「ICC プロファイルを埋め込む」の**チェック**を**解除**してください。

「圧縮を使用」のチェックは付けなくても大丈夫です。

※チェックを付けると保存速度は遅くなりますが、ファイルサイズは小さくなります。

「OK」をクリックで完了です。

14-1. Illustrator EPS 形式での保存 (eps ファイル)

「ファイル」メニューから「別名で保存」を選択し、ファイル形式を「IllustratorEPS」にして「保存」。

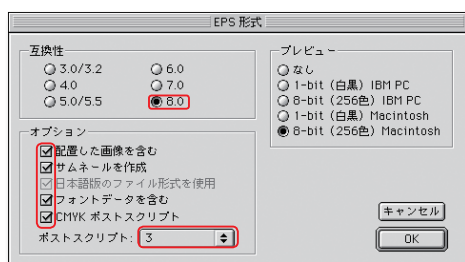
※ファイル名に拡張子「.eps」がつくようにしてください。

※必ずバージョンをおとさず保存するようにしてください。

※不要なデータは取り除いてください。

※配置後にファイル名を変更したりフォルダを変更するとリンクが切れます。

※オプションの「配置した画像を含む」はリンクファイルが無い場合、グレー表示で選択できません。



■ Illustrator 8

互換性は「8.0」を選びます。

「配置した画像を含む」に**チェック**を付けてください。

「サムネールを作成」に**チェック**を付けてください。

「フォントデータを含む」に**チェック**を付けてください。

「CMYK ポストスクリプト」の**チェック**を付けてください。

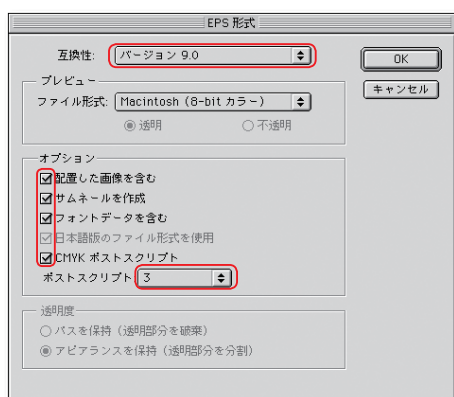
ポストスクリプトは「3」を選びます。

「OK」をクリックで完了です。

14.2. Illustrator EPS 形式での保存 (eps ファイル)

■ Illustrator 9

互換性は「バージョン 9.0」を選びます。

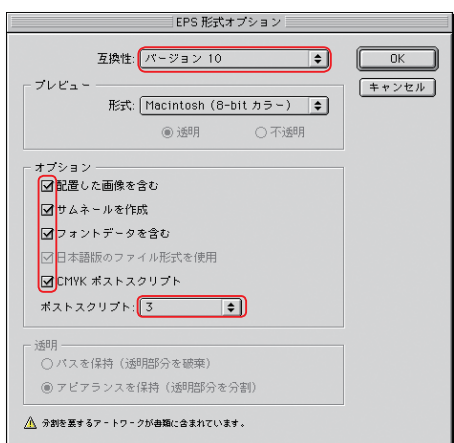


「配置した画像を含む」に**チェック**を付けます。
 「サムネールを作成」に**チェック**を付けます。
 「フォントデータを含む」に**チェック**を付けます。
 「CMYK ポストスクリプト」に**チェック**を付けます。
 「ポストスクリプト」は「**3**」を選びます。

「OK」をクリックで完了です。

■ Illustrator10

互換性は「バージョン 10」を選びます。



「配置した画像を含む」に**チェック**を付けます。
 「サムネールを作成」に**チェック**を付けます。
 「フォントデータを含む」に**チェック**を付けます。
 「CMYK ポストスクリプト」に**チェック**を付けます。
 「ポストスクリプト」は「**3**」を選びます。

「OK」をクリックで完了です。

■ IllustratorCS ~ CS5

バージョンは、各作成バージョンを選択してください。

※左図は CS3 なので「IllustratorCS3」を選びます。

透明の

「オーバープリント」は「**保持**」を選びます。

「プリセット」は「**高解像度**」を選びます。

フォントの

「他のアプリケーション用にフォントを埋め込む」に**チェック**を付けます。

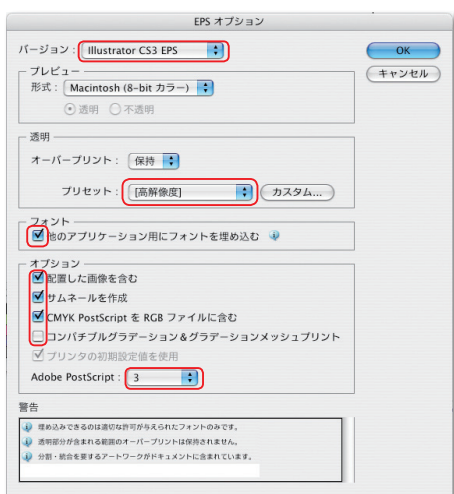
オプションの

「配置した画像を含む」に**チェック**を付けてください。

「サムネールを作成」に**チェック**を付けてください。

「CMYK PostScript を RGB ファイルに含む」に**チェック**を付けてください。

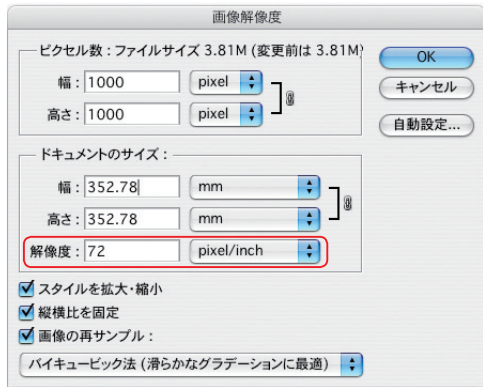
Adobe PostScript は「**3**」を選びます。



「OK」をクリックで完了です。

1. 画像の解像度

推奨の解像度は **300 ~ 350dpi (ppi)** です。オフセット印刷での推奨の解像度は「出力線数×2」とされているため、当社では「175線×2」で350dpi (ppi) です。



画像を開き、「**イメージ**」メニューから「**画像解像度**」を選択します。

※このデータは解像度 72dpi (ppi) ですので、352.78mm × 352.78mm のプリントサイズです。



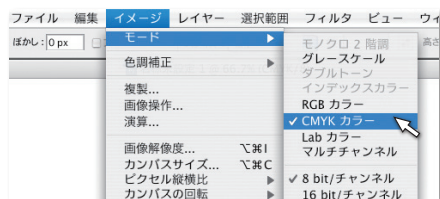
次に「画像の再サンプル」の**チェックを解除**し、「解像度」を「**350dpi (ppi)**」にします。

すると今度はプリントサイズ 72.57mm × 72.57mm になっていますので、この数値以上のサイズで画像を使用した場合は、ぼやけた感じとなり大きくしすぎると非常に荒い画像になります。

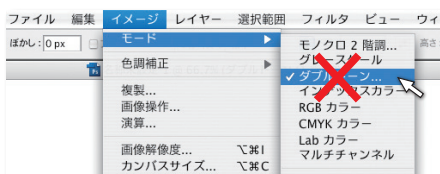
※低解像度のデータを画像の再サンプルにチェックを入れて解像度 350dpi (ppi) にしても画像は綺麗にはなりません。初めから高解像度で取り込んだものをご用意ください。

2. カラーモード

RGB カラーは出力時に CMYK に変換するため色が大幅に変わってしまいますので、CMYK カラーにしてください。

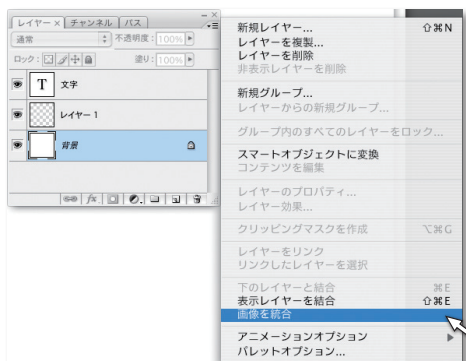


「**イメージ**」メニューから「**モード**」の「**CMYKカラー**」を選びます。

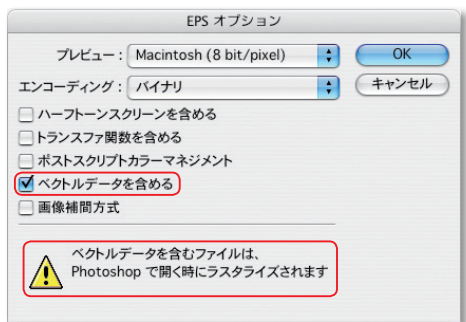


「**ダブルトーン**」は CMYK 変換の際に色が大幅に変わってしまいますので使用しないでください。

3. レイヤー



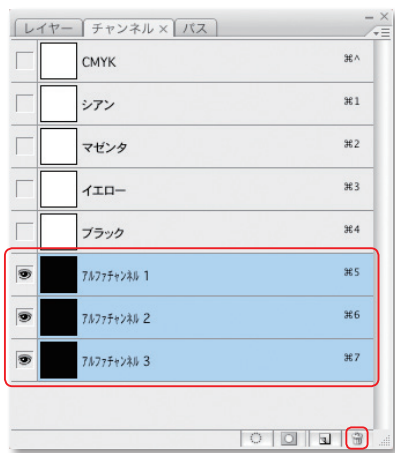
不要なレイヤーを削除し、画像を統合します。
レイヤーパレットメニューから「**画像を統合**」です。



文字データ、シェイプ（ベクトルレイヤー）を残したまま EPS 保存すると、再度開くときにラスタライズされてしまいエラーが出て当社で対処できませんので、必ず画像を統合した後に保存をお願いします。

※ EPS 保存時、左図のように警告と「ベクトルデータを含む」にチェックボックスが出ます。

4. アルファチャンネル

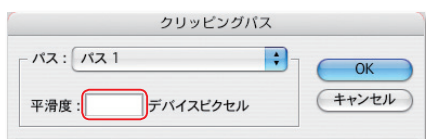


アルファチャンネルの情報は削除してください。

※アルファチャンネルの情報が残っていると、出力時にカラーが変化する場合がありますので、ご注意ください。

カラーチャンネルパレットを開きます。
左図の赤で囲った部分がアルファチャンネルです。

5. クリッピングパス

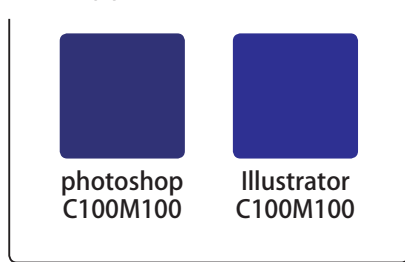


クリッピングパスの平滑度の数値は**入力しない**でください。
又は入力できる最小値「**0.2**」にしてください。

※高い数値が入っていると、出力時に滑らかに切り抜かれません。

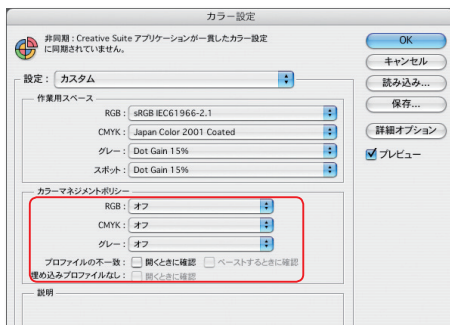
6. カラープロファイル

イメージ図



カラープロファイルは設定によっては画像の色が変換され、予期せぬカラーで出力されることがあります。

カラーマネジメントの設定がソフトごとに違っていたり、画像の保存形式によっては、左図のように photoshop で作成した C100 % M100 % と Illustrator で作成した C100 % M100 % で異なる状態で出力されてしまう場合がありますのでご注意ください。



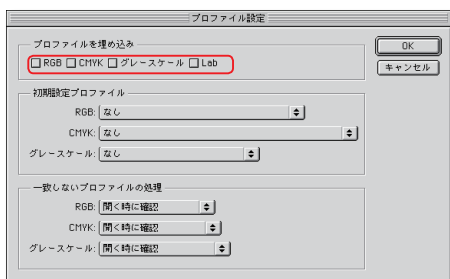
■ カラープロファイルを埋め込まない設定

「編集」メニューから「カラー設定」を選びます。

カラーマネジメントポリシーの「RGB」「CMYK」「グレイ」を全て「オフ」にします。

「プロファイルの不一致」のチェックを解除してください。

※ EPS 保存時に「カラープロファイルの埋め込み」にチェックを入れないで下さい。



■ photoshop 5 のカラープロファイルを埋め込まない設定

「ファイル」メニューから「カラー設定」の「プロファイル設定」を選びます。

「プロファイルの埋め込み」のチェックを全て解除します。

7. Photoshop EPS 形式での保存 (eps ファイル)

「ファイル」メニューから「別名で保存」を選択し、ファイル形式を「PhotoshopEPS」にして「保存」。

※ファイル名に拡張子「.eps」がつくようにしてください。



エンコーディングは「JPEG- 最高画質 (低圧縮率)」もしくは「バイナリ」を選びます。

チェックボックスにチェックは付けなくてください。

「OK」をクリックで完了です。

※エンコーディングの「JPEG- 最高画質 (低圧縮率)」は画像を圧縮して保存する形式です。ファイルサイズが小さくなるので、CD・MO により多く保存することができるようになります。JPEG エンコーディングで何回も保存しなると、劣化する場合があります。入稿前に JPEG エンコードで保存しなすことをお奨めします。

1. 配置画像

✕ IllustratorEPS
リンク画像



○ IllustratorEPS
埋め込み画像

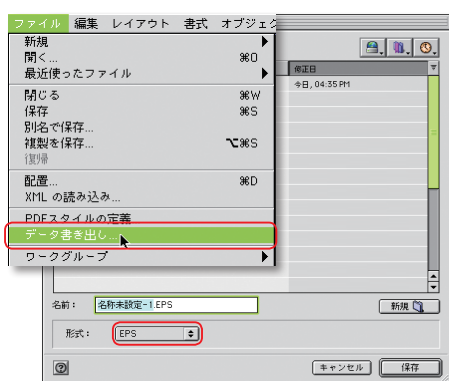


リンク画像を含む IllustratorEPS ファイルの配置は、画像が分割され、出力後左図のようになることがあります。

リンク画像を埋め込みした IllustratorEPS ファイルを配置するようにお願いします。

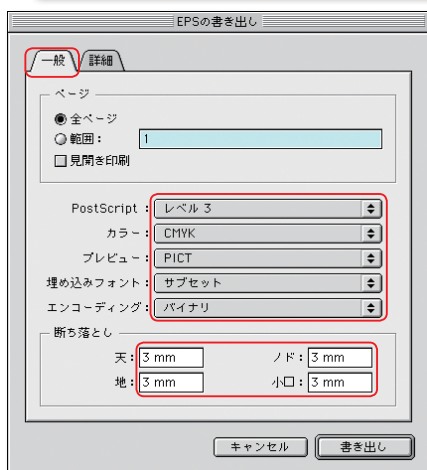
2. EPS 保存 (InDesign 2)

InDesign2 からの PDF 保存は、当社出力機では解決できない問題が発生していますので、EPS 形式で入稿をお願いします。



「ファイル」メニューから「データ書き出し」を選びます。

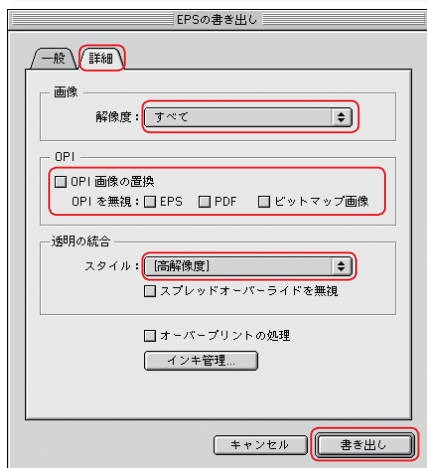
「形式」は「EPS」を選んでください。
「保存」をクリックします。



一般タブは

「PostScript」を「レベル3」、
「カラー」を「CMYK」、
「埋め込みフォント」を「サブセット」、
「エンコーディング」を「バイナリ」にしてください。

「立ち落とし」を全て「3 mm」にしてください。



詳細タブは

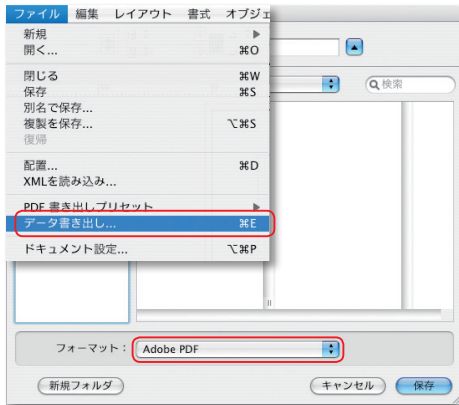
「解像度」を「すべて」にしてください。

OPI の欄のチェックは付けなくてください。

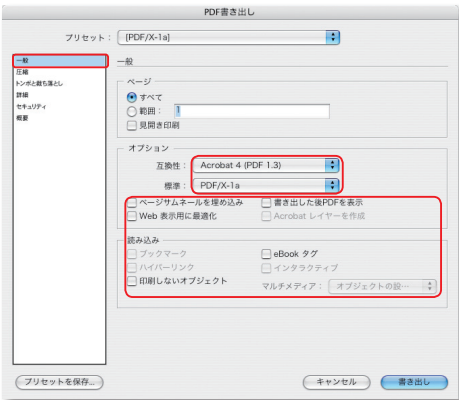
「スタイル」を「高解像度」にしてください。

「書き出し」をクリックで完了です。

3-1. PDF 保存 (InDesignCS・CS2・CS3)



「ファイル」メニューから「データ書き出し」を選びます。

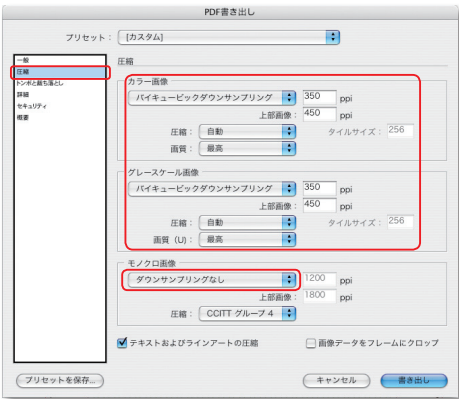


フォーマットは「Adobe PDF」を選びます。
「保存」をクリックします。

■ InDesignCS

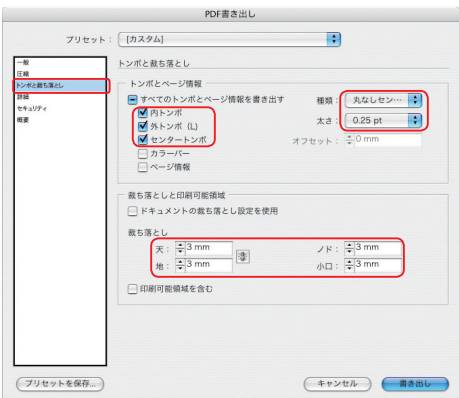
一般の項目は
「プリセット」は「PDF/X-1a」を選んでください。

「互換性」は「Acrobat4 (PDF1.3)」にしてください。
「基準」は「PDF/X-1a」にしてください。
チェックボックスに「チェックは付け不要」にしてください。



圧縮の項目は
カラー画像、グレースケール画像共に、「バイキュービック
ダウンサンプリング」を選び、「350dpi (ppi)」にします。
「圧縮」は「自動」にしてください。
「画質」は「最高」にしてください。

モノクロ画像は「ダウンサンプリングなし」を選びます。



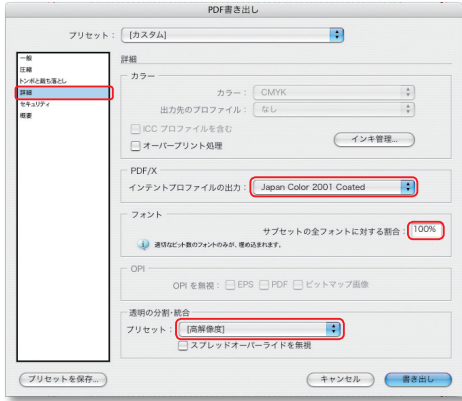
トンボと断ち落としの項目は
トンボとページ情報の「内トンボ」「外トンボ (L)」「センター
トンボ」に「チェック」を付けてください。
「種類」は「丸なしセンター」にしてください。
「太さ」は「0.25pt」にしてください。

断ち落としは全て「3 mm」にしてください。

3-2. PDF 保存 (InDesignCS ~ CS5)

「ファイル」メニューから「書き出し」を選びます。

保存ダイアログで保存形式は「Adobe PDF」を選びます。※ CS5 では「Adobe PDF (プリント)」です。



詳細の項目は

PDF/X の「インデントプロファイルの出力」を「Japan Color 2001 Coated」を選びます。

フォントの「サブセットの全フォントに対する割合」は「100%」にしてください。

透明の分割・統合の「プリセット」は「高解像度」にしてください。(設定完了後は次ページ、「最終確認」に続きます。)

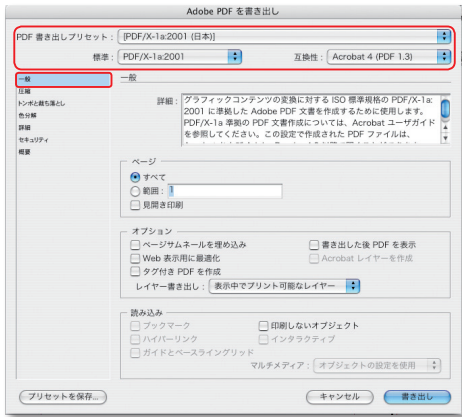
■ InDesignCS2・CS3・CS4・CS5

一般の項目は

「PDF 書き出しサブセット」を「PDF/X-1a:2001 (日本)」にしてください。

「標準」は「PDF/X-1a:2001」にしてください。

「互換性」は「Acrobat4 (PDF1.3)」にしてください。



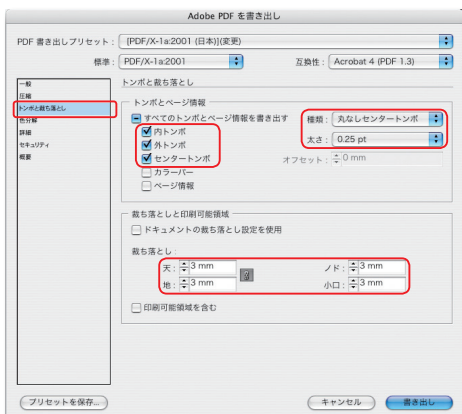
圧縮の項目は

カラー画像、グレースケール画像ともに「ダウンサンプル (バイキュービック法)」、「350」dpi (ppi) にしてください。

「圧縮」は「自動 (JPEG)」にしてください。

「画質」は「最高」にしてください。

モノクロ画像は「ダウンサンプルしない」にしてください。



トンボと断ち落としの項目は

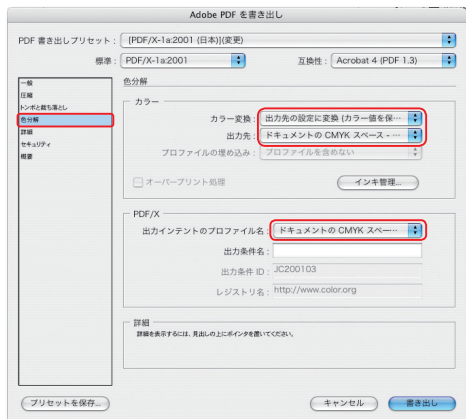
トンボとページ情報の「内トンボ」「外トンボ」「センタートンボ」にチェックを付けてください。

「種類」は「丸なしセンター」にしてください。

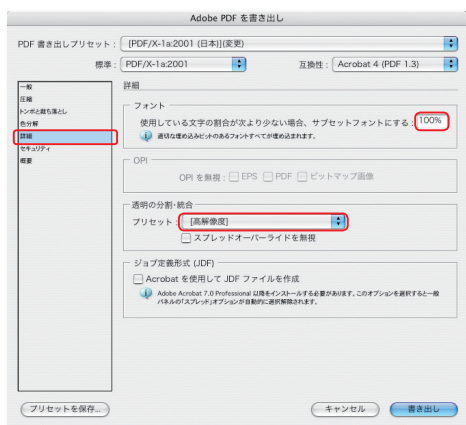
「太さ」は「0.25pt」にしてください。

断ち落としは全て「3 mm」にしてください。

3-3. PDF 保存 (InDesignCS ~ CS5)



色分解の項目は
「カラー変換」を「出力先の設定に変換 (カラー値 (番号) を保持)」にしてください。
「出力先」は「ドキュメントの CMYK スペース (領域)」にします。
「出力インテントのプロファイル名」は「ドキュメントの CMYK スペース (領域)」にしてください。

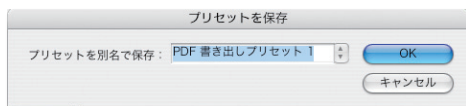


詳細の項目は
「使用している文字の割合が次より少ない場合、サブセットフォントにする」を「100%」にしてください。
※ CS2 は「サブセットの全フォントに対する割合」です。
「プリセット」は「高解像度」にしてください。



■最終確認
最後は概要の項目で、設定項目の確認をしてください。

「書き出し」をクリックして完了です。



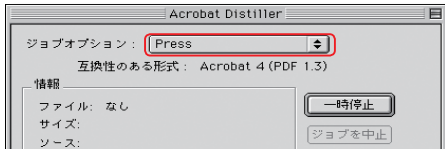
「プリセットを保存」を選んで、設定を保存しておくとう便利です。

1. PDF 変換

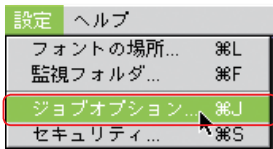
Acrobat Distiller で PS、EPS を PDF に変換することで Illustrator などから書き出した時に発生するバグが解消され安定した PDF を生成できます。

そして、変換して書き出されたデータは必ず Acrobat (Reader でも可) で確認してください。

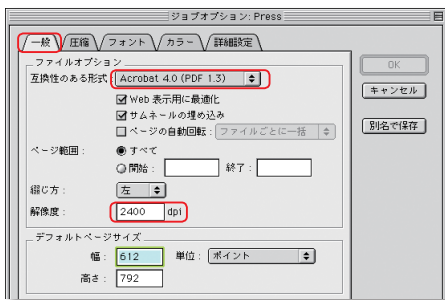
2-1. Acrobat Distiller 5 の設定



「ジョブオプション」は「Press」を選んでください。



「設定」メニューの「ジョブオプション」を開きます。

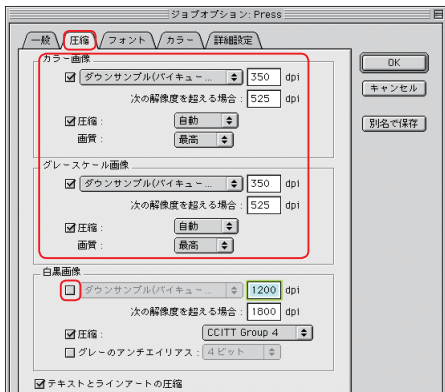


一般のタブは

「互換性のある形式」を「Acrobat4.0 (PDF1.3)」にしてください。

「綴じ方」は、頁物の場合は正しく設定します。

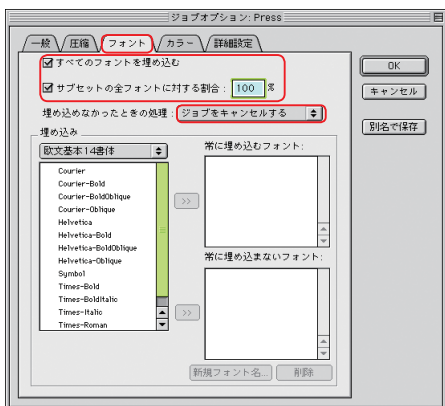
「解像度」は「2400 dpi (ppi)」にしてください。



圧縮のタブは

カラー画像、グレースケール画像ともに、「ダウンサンプル(バイキュービック法)」を選択し、「350」dpi (ppi) にしてください。

白黒画像は、チェックを解除してください。



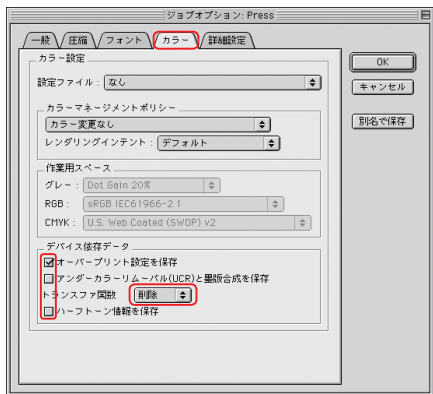
フォントのタブは

「すべてのフォントを埋め込む」にチェックを付けてください。

「サブセットの全フォントに対する割合」を「100」%にしてください。

「埋め込めなかったときの処理」は「ジョブをキャンセルする」を選んでください。

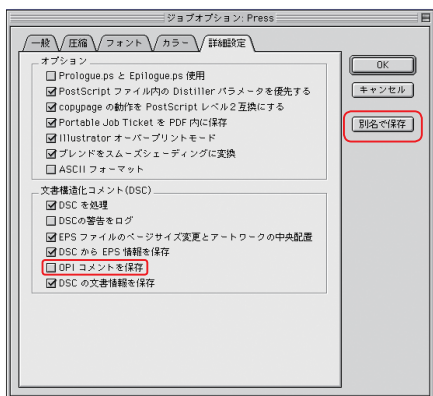
2-2. Acrobat Distiller 5 の設定



カラーのタブは

「オーバープリント設定を保存」のみ**チェック**を付けてください。

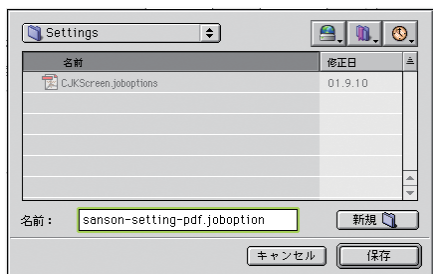
「トランスファ関数」は「**削除**」を選択してください。



詳細設定のタブは

右図のように**チェック**を付けてください。

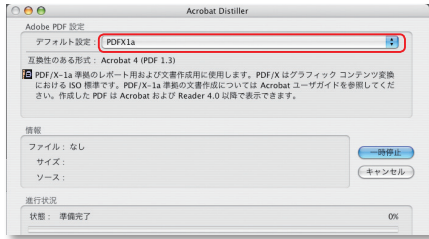
特に「OPI コメントを保存」の**チェック**は**解除**されていることが重要なので、ご確認ください。



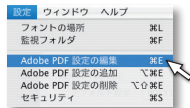
設定が完了したら「**別名で保存**」を選択してください。

設定を保存しておくと便利です。

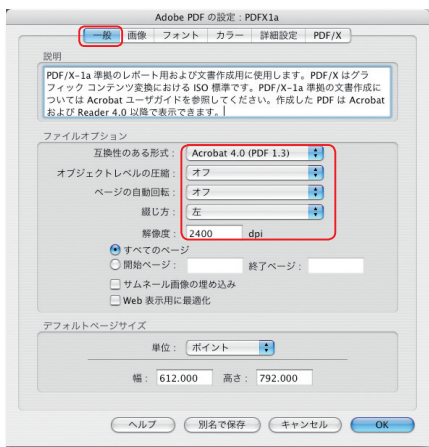
3-1. Acrobat Distiller 6 の設定



「デフォルト設定」は「PDF1a」を選んでください。



「設定」メニューの「Adobe PDF 設定の編集」を開きます。

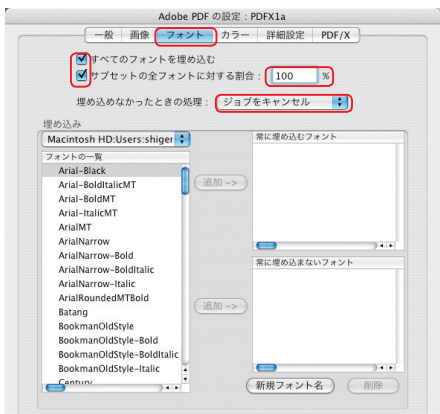


一般の項目は
 「互換性のある形式」を「Acrobat4.0 (PDF1.3)」に
 「オブジェクトレベルの圧縮」を「オフ」に
 「ページの自動回転」を「オフ」に
 「解像度」を「2400 dpi (ppi)」にしてください。



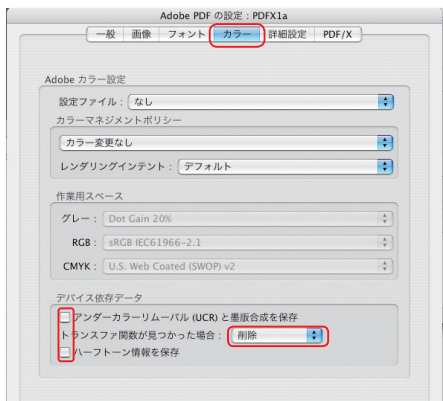
画像の項目は
 カラー画像、グレースケール画像ともに、「ダウンサンプル」を「ダウンサンプル (バイキュービック法)」、「350」dpi (ppi) にしてください。
 「圧縮」は「自動 (JPEG)」にしてください。
 「画質」は「最高」にしてください。

白黒画像は「ダウンサンプル」を「オフ」にしてください。



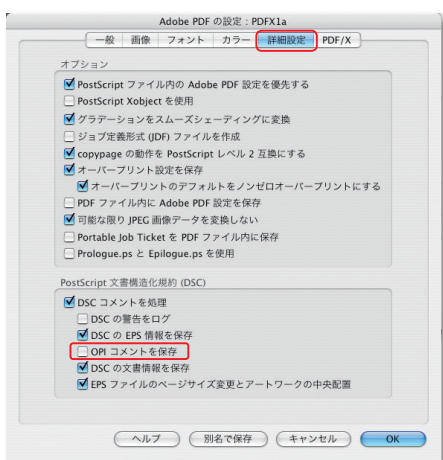
フォントの項目は
 「すべてのフォントを埋め込む」にチェックを付けてください。
 「サブセットの全フォントに対する割合」は「100%」にしてください。
 「埋め込めなかったときの処理」は「ジョブをキャンセル」を選んでください。

3-2. Acrobat Distiller 6 の設定



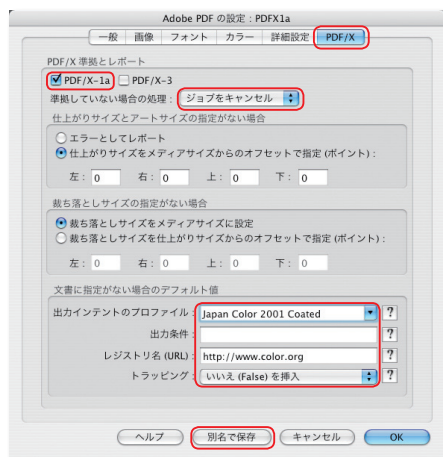
カラーの項目は

デバイス依存データの**チェックを付けない**ください。
「トランスファ関数が見つかった場合」は「**削除**」にしてください。



詳細設定の項目は

左図のように**チェックを付けて**ください。
特に「OPI コメントを保存」の**チェックは解除**されていることが重要なので、**ご確認ください**。

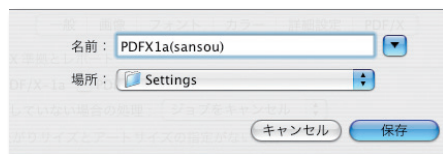


PDF/X の項目は

「PDF/X-1a」に**チェックを付けて**ください。
「準拠していない場合の処理」は「**ジョブをキャンセル**」にしてください。

「出力インテントのプロファイル」は「**Japan Color 2001 Coated**」にしてください。

「レジストリ名」は「**http://www.color.org**」にしてください。
「トラッピング」は「**いいえ (False) を挿入**」を選んでください。

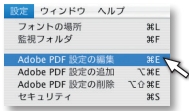


設定が完了したら「**別名で保存**」を選択してください。
設定を保存しておくと便利です。

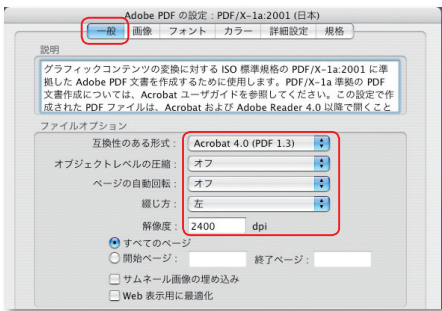
4-1. Acrobat Distiller 7・8・9の設定



「デフォルトの設定」を「PDF/X-1a2001 (日本)」にします。



「設定」メニューの「Acrobat PDF 設定の編集」を開きます。



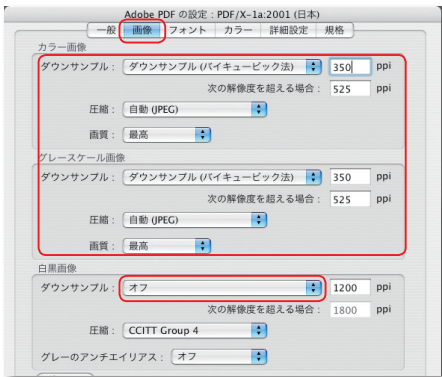
一般の項目は

「互換性のある形式」を「Acrobat4.0 (PDF1.3)」にしてください。

「オブジェクトレベルの圧縮」を「オフ」にしてください。

「ページの自動回転」を「オフ」にしてください。

「解像度」は「2400 dpi (ppi)」にしてください。



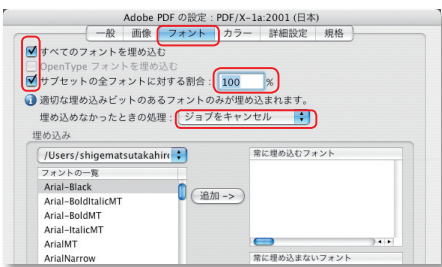
画像の項目は

カラー画像、グレースケール画像ともに、「ダウンサンプル」を「ダウンサンプル (バイキュービック法)」、「350 dpi (ppi)」にしてください。

「圧縮」は「自動 (JPEG)」にしてください。

「画質」は「最高」にしてください。

白黒画像は「ダウンサンプル」を「オフ」にしてください。

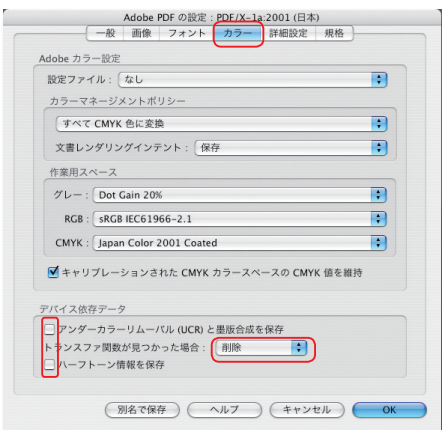


フォントの項目は

「すべてのフォントを埋め込む」にチェックを付けます。

「サブセットの全フォントに対する割合」を「100%」にしてください。

「埋め込めなかったときの処理」は「ジョブをキャンセル」にしてください。

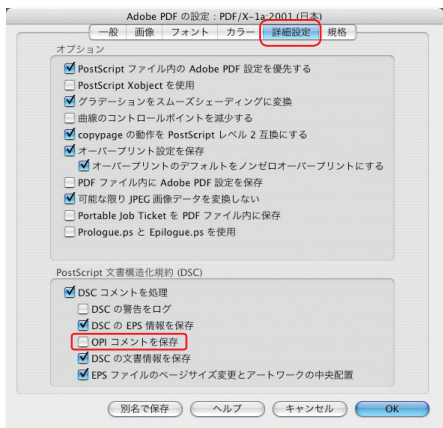


カラーの項目は

デバイス依存データのチェックを付けないでください。

「トランスファ関数が見つかった場合」は「削除」にしてください。

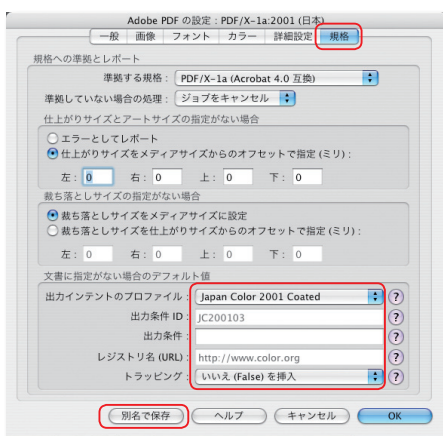
4-2. Acrobat Distiller 7・8・9の設定



詳細設定の項目は

左図のようにチェックを付けてください。

特に「OPIコメントを保存」の**チェックは解除**されていることが重要なので、ご確認ください。



規格の項目は

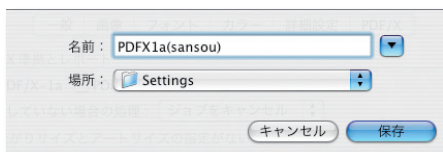
「標準化する規格」を「PDF/X-1a (Acrobat4.0互換)」にしてください。

「標準化していない場合の処理」を「ジョブをキャンセル」にしてください。

「出力インデントのプロファイル」を「Japan Color 2001 Coated」にしてください。

「レジストリ名 (URL)」を「http://www.color.org」にしてください。

「トラッピング」を「いいえ (False) を挿入」にしてください。



設定が完了したら「別名で保存」を選択してください。

設定を保存しておくくと便利です。

1-1. Adobe PDF への変換

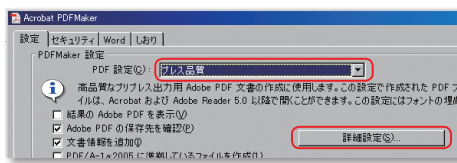
Office のデータ（word、Excel、PowerPoint）を PDF にすることにより書体や体裁を気にすることなくご入稿いただけます。

※ Acrobat (**Reader 不可**) をインストールしないと、この PDF-Maker の機能はご使用出来ません。



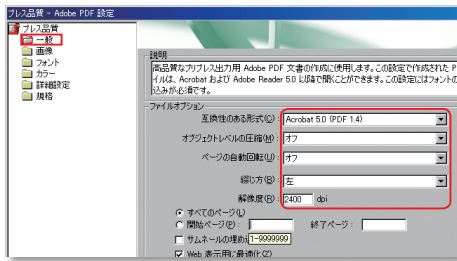
デフォルトでは印刷用に正しく変換されませんので、設定を変更します。

「Adobe PDF」メニューの「**変換設定の変更**」を開いてください。



「設定」タブの「PDF設定」を「**プレス品質 (PressQuality)**」にしてください。

「**詳細設定**」を開いてください。



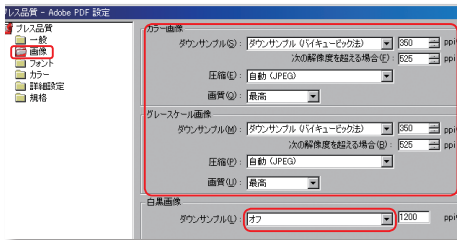
一般の項目は

「互換性のある形式」を「**Acrobat 5.0 (PDF1.4)**」にしてください。

「オブジェクトレベルの圧縮」を「**オフ**」にしてください。

「ページの自動回転」を「**オフ**」にしてください。

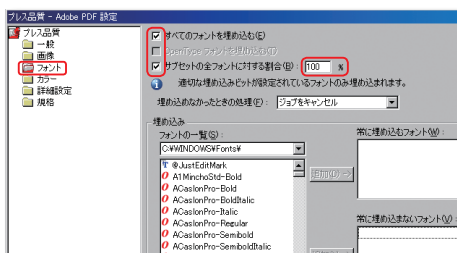
「解像度」を「**2400 dpi**」にしてください。



画像の項目は

カラー画像、グレースケール画像ともに、「ダウンサンプル」を「**ダウンサンプル (バイキュービック法)**」、「**350 dpi (ppi)**」にしてください。

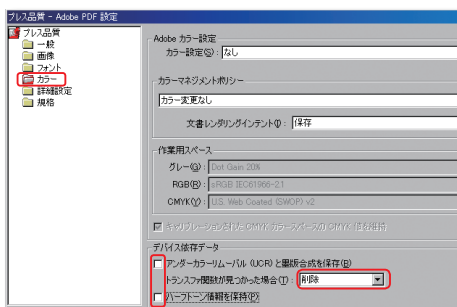
白黒画像の「ダウンサンプル」は「**オフ**」にしてください。



フォントの項目は

「すべてのフォントを埋め込む」に**チェック**を付けてください。「サブセットの全フォントに対する割合」は「**100%**」にしてください。

「埋め込めなかったときの処理」は「**ジョブをキャンセル**」にしてください。

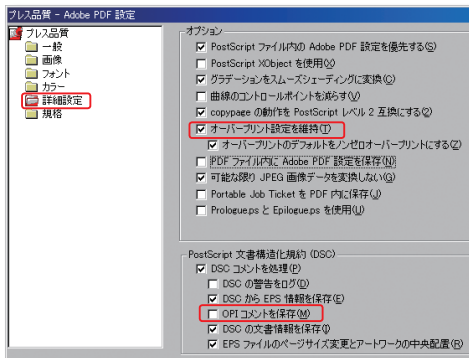


カラーの項目は

デバイス依存データの**チェックを付け**ないでください。

「トランスファ関数が見つかった場合」は「**削除**」にしてください。

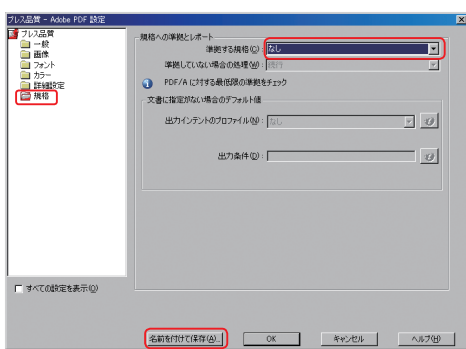
1-2. Adobe PDF への変換



詳細設定の項目は

左図のようにチェックを付けてください。

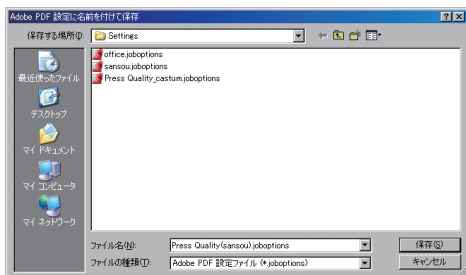
※特に「**オーバープリント設定を維持**」に**チェック**を付けることと、「**OPI コメントを保存**」の**チェックが外れている**ことが重要ですのでご確認をお願いします。



規格 (PDF/X) の項目は

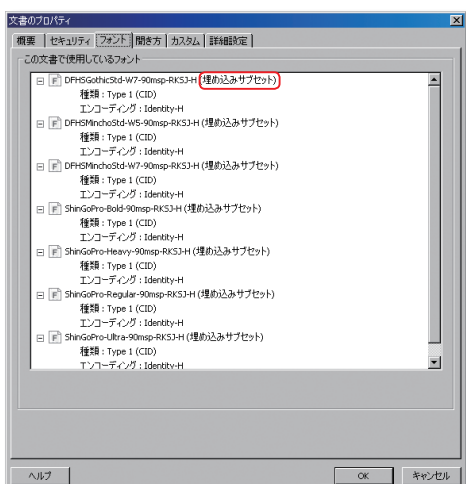
「準拠する規格」は「**なし**」にしてください。

PDF/X1-a、PDF/X-3 のチェックボックスがある場合は**解除**してください。



設定が完了したら「**別名で保存**」を選択してください。

設定を保存しておくと便利です。



作成した PDF を Acrobat で開き、最終確認をしてください。

「**ファイル**」メニューから「**文書のプロパティ**」を開きます。

フォントの項目で、書体が埋め込まれているか確認してください。きちんと埋め込まれている書体は**(埋め込みサブセット)**となっています。

※なかには埋め込み出来ない書体もありますので気を付けてください。

※ Office データは RGB カラーなので、印刷時には CMYK に変換され、色が変わります。

2. AVANAS MultiStudio ドライバーパッケージで中間ファイルへの変換

Office から印刷データの変換は、Adobe PDF の他に、大日本スクリーンの AVANAS MultiStudio の中間ファイルもあります。

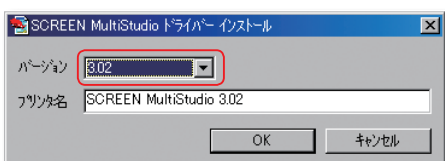
中間ファイルの作成は MultiStudio ドライバーパッケージの **ver3.02** を使用してください。大日本スクリーンのホームページから無料でダウンロードできます。

(ホーム→製品情報→AVANAS → MultiStudio → Office パッケージ→ダウンロード)

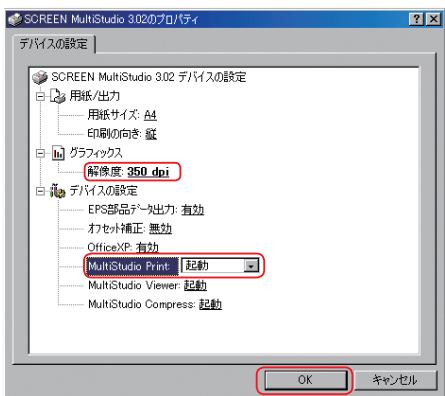


■初期設定

インストール後、プログラムに MultiStudio が追加されますので「インストール」をクリックします。



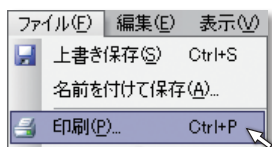
「バージョン」が「3.02」になっているか確認し、「OK」をクリックします。



グラフィックの「解像度」を「350 dpi (ppi)」にしてください。

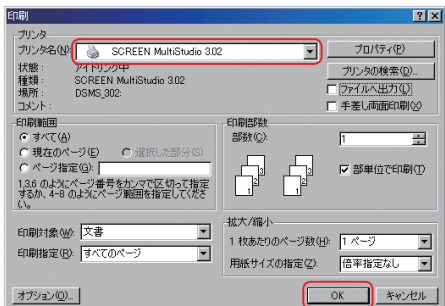
デバイスの設定の「MultiStudio Print」を「起動」にしてください。

「OK」をクリックで設定完了です。

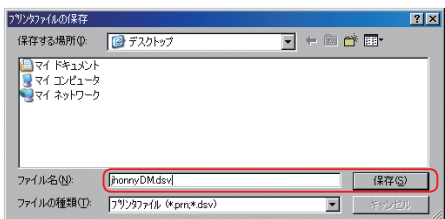


■変換方法

作成されたアプリケーションから「印刷」を選びます。



プリンタを「SCREEN MultiStudio 3.02」にして「OK」をクリックしてください。



ファイル保存ダイアログボックスが出るので、任意のファイル名を付けて保存してください。

これが中間ファイルとなりますので、このデータを入稿してください。

アプリケーション対応表

Adobe 社製品対応状況

Illustrator 対応表	WinXP	Vista	Windows 7	Mac OS9	Mac OSX
Illustrator 8.0	×	×	×	○	×
Illustrator 9.0	○	×	×	○	×
Illustrator 10	○	×	×	○	×
Illustrator CS	○	×	×	×	○
Illustrator CS2	○	×	×	×	○
Illustrator CS3	○	×	×	×	○
Illustrator CS4	○	×	×	×	○
Illustrator CS5	○	×	×	×	○
Photoshop 対応表	WinXP	Vista	Windows 7	Mac OS9	Mac OSX
Photoshop 5.5	×	×	×	○	×
Photoshop 6.0	×	×	×	○	×
Photoshop 7.0	×	×	×	○	×
Photoshop CS	○	×	×	×	○
Photoshop CS2	○	×	×	×	○
Photoshop CS3	○	×	×	×	○
Photoshop CS4	○	×	×	×	○
Photoshop CS5	○	×	×	×	○
InDesign 対応表	WinXP	Vista	Windows 7	Mac OS9	Mac OSX
InDesign 2.0	○	×	×	○	×
InDesign CS	○	×	×	×	○
InDesign CS2	○	×	×	×	○
InDesign CS3	○	×	×	×	○
InDesign CS4	○	×	×	×	○
InDesign CS5	○	×	×	×	○

※ Adobe InDesign のネイティブデータでのご入稿はしないでください。

Office 関係対応状況

Office 対応表 (Windows のみ)	Word	Excel	PowerPoint	Publisher
Office 95	×	×	×	×
Office 97	×	×	×	×
Office 2000	○	○	○	×
Office XP (2002)	○	○	×	×
Office 2003	○	○	○	×
Office 2007	○	○	○	×

※ Windows Vista 版・7 版には対応していません。

※ Windows XP にメイリオフォントを入れている環境には対応していません。